

## 使用済み核燃料一時保管

# 中間貯蔵事実上の合格

原子力規制委員会は「RFS準に適合している」とす  
2日の定例会合で、東電の「審査書案」を了承  
京電力と日本原子力発電が、新規制基  
電が出資する「リサイむつ市」が、新規制基  
格。

の容量が逼迫する中、国内唯一の原発敷地外での保管場所となる。東電と原子力発電が出した使用済み燃料を、再処理するまで最長50年間保管する計画で、RFSは2021年度の操業開始を目指している。

施設では、燃料を金属容器に入れて外気で冷却しながら保管する。RFSは、耐震設計の目安となる揺れ(基準地震動)を6.20と想定。津波は青森県の予測の2倍に当たる23メートルを仮想的に設定し、安全対策を取る」と説明している。

会合では、津波が襲来した場合の施設や燃料への影響などについて確認した上で、委員5人が了承した。

使用済み燃料を化学処理(再処理)して取り出したプルトニウムを、燃料として繰り返し使う国策「核燃料サイクル」の関連施設。全国の原発で使用済み燃料を保管するプール0と想定。津波は青

### 核燃料サイクルと中間貯蔵施設



# 核燃料サイクルと中間貯蔵施設

